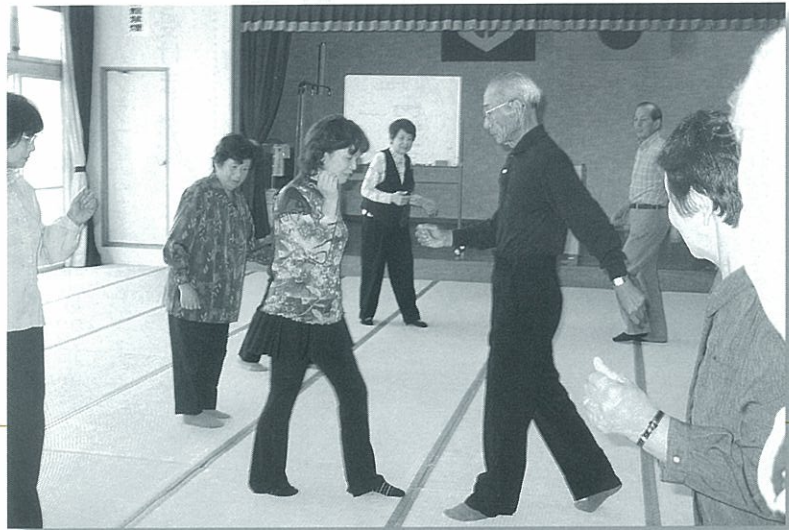




サークル活動、オリジナル焼酎、手づくり寸劇で交流の輪

鹿児島県出水市老人クラブ連合会 高尾野総支部
クラブ数・18 会員数・1095名 男性・410名・女性・685名



社交ダンスサークルの練習風景



さつま芋の収穫

2006年、旧高尾野町、旧野田町と合併して誕生した出水市老連では、合併前の町単位で総支部を置いて事業等を行っていた、高尾野総支部では、旧高尾野町の頃から様々な活動を実施しています。

若手、未加入者に向けた趣味活動

高尾野総支部においても会員が減少傾向にあり、クラブの解散や加入促進が課題となっています。そこで近年では、様々な趣味サークルを通じて加入促進を行っています。

現在は、カラオケ、レクリエーションダンス、社交ダンス、ゴルフのサークルが活動しています。社交ダンスとゴルフは、若年及び未加入者向けに平成20年に立ち上げました。ゴルフは市内ゴルフ場との交渉により、高齢者用の乗用カートを使用し、安い料金でコンペを開催し、毎回約20名がプレーしています。社交ダンスは月2回、少人数ですが、華やかなイメージが団塊世代へアピールして好評で、旅行や各種大会等で披露しています。

これらのサークル活動で楽しく活動していくうちに、未加入者がクラブに新規

加入したり、自ら会長となって休会クラブを再開させるなどの事例も出てきており、今後も趣味やサークルを通じた活動から、クラブ活動への発展を期待しているところです。

オリジナル焼酎づくり

鹿児島県は焼酎の生産が盛んです。平成18年度より、市施設のふれあい農園でさつま芋を栽培して、地元焼酎工場ですま焼酎に製品化して会員に提供しています。今年も、大きく実った芋と麴用の米を使用して、老舗の蔵元で昔ながらの甕仕込みと職人杜氏の技で、オリジナルのまろやかなおいしい焼酎ができました。

限定生産628本(720ml)の焼酎のラベルは会員の手

作りです。今年はい員の描いた花をアレンジしたもので、瓶全体で鶴をイメージしたデザインとなっています。銘柄「じゃっせん 高尾野」は、



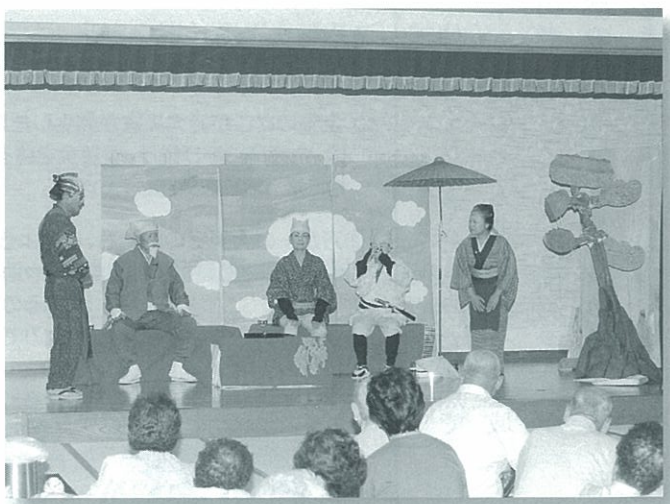
鹿児島県出水市

「やっぱり高尾野だよ」という意味です。賛助会員限定の焼酎として製品化しており、昨年作成した名入れラベルなども好評で毎年完売しています。県外の家族に贈る方も多く、「自分のボランティア活動が形になった」と会員に喜ばれています。今後も会員の特典であるオリジナル焼酎が、健康づくりの一助となれば幸いです。

老人クラブ定例会で寸劇

合併前の昭和53年頃から、老人福祉センターにて毎月老人クラブ定例会を開催し、約400名が参加しています。ここでは、講話(健康、転倒予防、防災・防火、交通安全、食生活改善、体操、園児との交流、レクリエーション、施設見学研修等)を実施しています。

平成19年からは、「皆が楽しく学べるように」と有志を募って劇団「とんぼ」を結成して、オレオレ詐欺や交通安全などを盛り込んだ寸劇を面白おかしく演じています。今年度は水戸黄門を参考にシナリオを作成し、詐欺に騙される高齢者を取り巻く騒動をコミカルに演じて会場の笑いを誘



寸劇「旅は道連れ世は情け」

いました。劇団「とんぼ」の団員は、会員のほか、ボランティア、主婦など様々ですが、自前の衣装やカツラでそれぞれの役に扮して地元のネタや方言で見事に演じ、参加者に大変喜ばれています。観る側も演じる側も共に生きがいとなるこのような活動を、これからも続けていきたいと思っています。

今後も、出水総支部、野田総支部と連携を図りながら、様々な活動で会員同士の交流を推進していきたいと考えています。

(高尾野総支部長 畠田良信 事務局長 川畑晴雄)